

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

Corteva Agriscience™ は、この製品の使用者が、重要な情報を記載しているこの(M)SDSを熟読され、ご理解されるようお願いしております。このSDSは、職場における人の健康および安全性の保護、環境保護、緊急時の対応を支援する情報を製品の使用者に提供します。製品を使用される際は、主に製品容器に添付されている製品ラベルを参照する必要があります。このSDSは、日本の法規制及びJIS Z 7253に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : インダー™ フロアブル

供給者の会社名称、住所及び電話番号

会社情報

製造業者/輸入業者

コルテバ・ジャパン株式会社
100-6110 東京都千代田区永田町 2-11-1

会社電話番号 : 03-3519-3190
電子メールアドレス : SDS@corteva.com

緊急連絡電話番号 : 0800-170-5827

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 殺菌剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

特定標的臓器毒性（反復ばく露）（経口） : 区分2（肝臓）

水生環境有害性 短期（急性） : 区分2

水生環境有害性 長期（慢性） : 区分2

GHS ラベル要素

インダー[™] フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

絵表示又はシンボル : 

注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : H373 長期にわたる、又は反復ばく露（経口）による臓器の障害のおそれ（肝臓）。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き : **安全対策:**
P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
P273 環境への放出を避けること。
応急措置:
P314 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
P391 漏出物を回収すること。
廃棄:
P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性
知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS) / 安衛法 (ISHL) 番号
フェンブコナゾール (ISO)	114369-43-6	22	8-(3)-1397
プロピレングリコール	57-55-6	4.1	2-234
ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム	577-11-7	0.49	2-1623, 2-1620 2-(4)-384

4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸停止の時は救急隊または救急車を呼び、人工呼吸を施す。マウスツーマウス式人工呼吸を行う時は、レスキュー用保護具（ポケットマスクなど）を使用する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱がせる。直ちに皮膚を大量の水で 15～20 分間洗浄する。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。

インダー[™] フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

眼に入った場合	: 眼を開いたまま 15～20 分水道でゆっくりと優しく洗い流す。コンタクトレンズを装着している場合は、5 分洗眼してからはずし、さらに洗眼を続ける。中毒情報センターに連絡するか医師に治療のアドバイスを求めること。
飲み込んだ場合	: 緊急医療措置は必要ない。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 知見なし。
応急措置をする者の保護	: 曝露の危険がある時は、個人用防護具に関する第 8 章を参照すること。
医師に対する特別な注意事項	: 喘息の様な(反応性気道)症状を起こすことがある。気管支拡張薬、去痰薬、鎮咳薬およびコルチコステロイドが有効なことがある。 特別な解毒剤はない。 ばく露に対する治療は、患者の症状に応じて臨床的処置を行う。 中毒情報センターや医師に電話する場合、または治療を受けに行く場合は、この安全データシートのほか、できれば製品の容器またはラベルを手元に用意すること。 過剰曝露を繰り返すと、既存の肺疾患が悪化することがある。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧 耐アルコール泡消火剤 二酸化炭素 (CO2) 粉末消火剤
使ってはならない消火剤	: 知見なし。
特有の危険有害性	: 燃焼生成物にさらされると、健康に危害を及ぼす可能性がある。 火災時には消火用水が排水溝ないし水路へ流出しないよう防止すること。
有害燃焼副産物	: 有害燃焼副産物 火災時の煙には、元の物質に加えて、毒性や刺激性があるかもしれない様々な燃焼生成物が含まれていることがある。 燃焼生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 炭素酸化物
特有の消火方法	: 安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。 区域から退避させること。 未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護	: 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。 保護具を使用する。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出は必ず避けなければならない。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 適切な吸収剤を使って流出の残余物を除去する。
本物質、ならびに放出物の清掃に使用した資材および品目の放出および処分については、地方または国の規制が適用される場合がある。
大規模な流出の場合は、物質が広がらないように、堤防で囲うか、他の適切な封じ込めを行う。堤防で囲った物質をポンプで汲み出せるのであれば、回収物質は、ベント付き容器に保管すること。
漏洩物質が更に反応し、容器内が加圧状態になることがあるので、通気孔から水が侵入しないようにすること。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。
吸収材（例：布、フリース）で拭き取る。
追加情報として、項目 13 の廃棄上の注意を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
十分な衛生的作業を行い安全規定に従って取扱う。
作業エリアでは、喫煙、飲食は禁止する。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注意する。
適切な安全設備を用いること。追加情報として、第 8 項、暴露防止及び保護措置を参照。

接触回避

- : 強酸
強塩基類
強酸化剤

保管

- 安全な保管条件 : 密閉容器に保管すること。
適切なラベルのついた容器に入れておく。
各国の規定に従って保管する。
- 混触禁止物質 : 強酸化剤

インダー[™] フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

設備対策 : 空气中濃度が許容濃度以下に保てるよう制御する。
許容濃度が設定されていない場合、適切な全体換気を行う。
一部の作業には局所排気装置が必要になることがある。

保護具

呼吸用保護具 : 許容濃度を超える可能性がある場合は、呼吸器用保護具を着用する。
許容濃度が未設定の場合、認可された呼吸器用保護具を使用する。
特定の作業や物質の空气中濃度の可能性に応じて、空気清浄呼吸器又は陽圧送気マスクを選定する。
緊急時には、認可された陽圧自給式呼吸器を使用する。

手の保護具

備考 : この物質を取り扱う際、化学品用保護手袋 は必要ない。一般的な注意事項を遵守し、皮膚接触は最低限にする。

眼の保護具 : 安全メガネ(サイドシールド付)を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 清潔な作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 類白色

臭い : なし

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点/ 範囲 : 適用なし

沸点／沸騰範囲 : 100.0 ° C

可燃性 (液体) : 非該当

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限 : データなし
値

爆発範囲の下限 / 可燃下限 : データなし
値

引火点 : データなし

分解温度 : データなし

インダー[™] フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

pH	: 9.0
蒸発速度	: データなし
自然発火点	: データなし
粘度	
動粘度 (動粘性率)	: データなし
溶解度	
水溶性	: 分散する
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	
比重	: 1.05
密度	: 1.06 g/cm ³
相対ガス密度	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	: 指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	: 推奨保管条件下では安定。 特に言及すべき危害要因はない。
避けるべき条件	: 知見なし。
混触危険物質	: 強酸 強塩基類 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 分解生成物は温度、空気の供給および他の物質の存在による。 分解生成物は以下のものを含むことがあり、またこれだけとは限らない: 炭素酸化物 窒素酸化物 (NO _x) 塩化水素ガス

インダー[™]フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

11. 有害性情報

急性毒性

製品:

- 急性毒性（経口）：LD50（ラット、オスおよびメス）: > 5,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入）：LC50（ラット、オスおよびメス）: > 2.1 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
- 急性毒性（経皮）：LD50（ラット、メス）: > 5,000 mg/kg

成分:

フェンブコナゾール (IS0):

- 急性毒性（経口）：LD50（ラット）: > 2,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入）：LC50（ラット、オスおよびメス）: > 2.10 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
症状: この濃度では死に至らない。
備考: 到達可能な最高濃度。
- 急性毒性（経皮）：LD50（ラット）: > 5,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。

プロピレングリコール:

- 急性毒性（経口）：LD50（ラット）: > 20,000 mg/kg
- 急性毒性（吸入）：LC50（ウサギ）: 317.042 mg/l
曝露時間: 2 h
試験環境: 粉じん/ミスト
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。
備考: ミストは上気道（鼻と喉）を刺激することがある。
- 急性毒性（経皮）：LD50（ウサギ）: > 2,000 mg/kg
症状: この濃度では死に至らない。
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): > 2,100 mg/kg
備考: 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

急性毒性 (経皮) : LD50 (ウサギ、オス): > 10,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402

皮膚腐食性/刺激性

製品:

結果 : 皮膚刺激なし

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

プロピレングリコール:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激なし

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種 : ウサギ
結果 : 皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品:

結果 : 眼への刺激なし

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし

プロピレングリコール:

種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種 : ウサギ
結果 : 腐食性

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

アセスメント : 皮膚感作性なし

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

種	: モルモット
結果	: 皮膚感作性なし

プロピレングリコール:

種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

種	: ヒト
結果	: 皮膚感作性なし

生殖細胞変異原性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

プロピレングリコール:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro での遺伝毒性試験は陰性であった。動物遺伝毒性試験は陰性だった。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生殖細胞変異原性 - アセスメント : In vitro 遺伝毒性試験では、陰性結果もあったが陽性結果もあった。

発がん性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

発がん性 - アセスメント : 実験動物で発がん性が認められた。しかし、影響は特定の種においてでありヒトには適用しない。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

プロピレングリコール:

発がん性 - アセスメント : 動物試験では、発がん性はなかった。

生殖毒性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、雌の生殖を阻害することを示した。
実験動物において、母体毒性を示す用量で胎児毒性が認められた。動物試験で催奇形性はなかった。

プロピレングリコール:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。動物試験では、繁殖性を阻害しなかった。
動物試験で、催奇形性や他の胎児への影響はなかった。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生殖毒性 - アセスメント : 動物試験では、生殖を阻害しなかった。
入手可能なデータは、催奇形性を起す可能性を評価するのに十分ではない。入手可能データは、胎児毒性を起す可能性を評価するのには不十分である。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)**製品:**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

成分:**フェンブコナゾール (ISO):**

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

プロピレングリコール:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性 (単回ばく露) を示さない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質 (単回ばく露) としては区分に該当しない。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

アセスメント : 使用可能なデータの評価によれば、この物質は特定標的臓器毒性（反復ばく露）を示さない。

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

暴露の主経路 : 経口
標的臓器 : 肝臓
アセスメント : 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

反復投与毒性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

備考 : 動物では、以下の臓器に影響することが報告されている :
肝臓。

プロピレングリコール:

備考 : プロピレングリコールに反復過剰暴露すると、まれに中枢神経系影響を起こすことがある。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

備考 : 腹部不快感または下痢をおこすことがある。

誤えん有害性

製品:

物性上、誤えん有害性は低い。

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

物性上、誤えん有害性は低い。

プロピレングリコール:

物性上、誤えん有害性は低い。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

物性上、誤えん有害性は低い。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性 : 備考:この物質は、水生生物に対して中等度の急性毒性を示す
(試験した種のうち最も感受性の高い種では LC50/EC50:
1~10 mg/L)。

LC50 (Cyprinus carpio (コイ)): 15 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia (ミジンコ属)): 400 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : EbC50 (藻類): 4.6 mg/l
曝露時間: 72 h

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

魚毒性 : LC50 (Lepomis macrochirus (ブルーギル)): 0.68 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 1.5 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 流水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 2.2 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202

LC50 (塩水アミ (Mysidopsis bahia)): 0.63 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : EbC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 0.33 mg/l
曝露時間: 72 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 201

EbC50 (Desmodesmus subspicatus (緑藻)): 0.4 mg/l
曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

- M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1
- 魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 0.32 mg/l
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 半止水式
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 0.078 mg/l
曝露時間: 21 d
試験タイプ: 流水式試験
- M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1
- 微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥): > 20 mg/l
曝露時間: 3 h
方法: OECD 209 試験
- 土中生物に対する毒性 : LC50 (Eisenia fetida (ミミズ)): > 50 mg/kg
曝露時間: 14 d
- 地上生物に対する毒性 : 経口 LD50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): > 2,150 mg/kg 体重
混餌 LC50 (Colinus virginianus (コリンウズラ)): 4,050 mg/kg 餌
混餌 LC50 (Anas platyrhynchos (マガモ)): 2,110 mg/kg 餌
曝露時間: 8 d
接触 LD50 (Apis mellifera (ミツバチ)): > 292 µg/bee
曝露時間: 48 h
エンドポイント: 死亡率
- プロピレングリコール:
- 魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): 40,613 mg/l
曝露時間: 96 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 203
- ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : LC50 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)): 18,340 mg/l
曝露時間: 48 h
試験タイプ: 止水式試験
方法: OECD 試験ガイドライン 202
- 藻類/水生生物に対する毒性 : ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 19,000 mg/l
エンドポイント: 生長率阻害
曝露時間: 96 h

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

方法: OECD 試験ガイドライン 201

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : 最大無影響濃度 (Ceriodaphnia dubia (ミジンコ)):
に対する毒性 (慢性毒性) 13,020 mg/l
エンドポイント: 子孫の数
曝露時間: 7 d
試験タイプ: 半止水式

微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度 (Pseudomonas putida (シュードモナス プチ
ダ)): > 20,000 mg/l
曝露時間: 18 h

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

魚毒性 : LC50 (Oryzias latipes (オレンジレッドカダヤシ)): 68 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: 方法不特定.

ミジンコ等の水生無脊椎動物 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): 6.6 mg/l
に対する毒性 曝露時間: 48 h

残留性・分解性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

生分解性 : 結果: 分解性なし
生分解: 17 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301D あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 不合格

光分解性 : 速度定数: 9.7775E-12 cm³/s
分解 (間接光分解) : 0 % 分解半減期: 13.1 h

プロピレングリコール:

生分解性 : 好気性
結果: 易分解性
生分解: 81 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 合格

結果: 易分解性
生分解: 96 %
曝露時間: 64 d
方法: OECD テストガイドライン 306 あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 非該当

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

生化学的酸素要求量 (BOD) : 69.000 %
インキュベーション時間: 5 d

70.000 %
インキュベーション時間: 10 d

86.000 %
インキュベーション時間: 20 d

化学的酸素要求量 (COD) : 1.53 kg/kg

ThOD : 1.68 kg/kg

光分解性 : 速度定数: 1.28×10^{-11} cm³/s
方法: 推定値。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生分解性 : 接種: 活性汚泥、非馴化
結果: 易分解性
生分解: > 60 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD テストガイドライン 301F あるいは同等のもの
備考: 10-day Window: 不合格

光分解性 : 試験タイプ: 半減期 (間接光分解)
感作性: OH ラジカル
速度定数: 2.31×10^{-11} cm³/s
方法: 推定値

生体蓄積性**成分:****フェンブコナゾール (ISO):**

生体蓄積性 : 種: *Lepomis macrochirus* (ブルーギル)
生物濃縮因子 (BCF) : 160
曝露時間: 28 h

n-オクタノール／水分配係数 :
(log 値)

log Pow: 3.23
方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は中程度 (BCF: 100~3,000、Log Pow: 3~5)

プロピレングリコール:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 0.09
方法: 推定値

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: -1.07
(log 値) 方法: 測定値
備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

生体蓄積性 : 種: 魚類
生物濃縮因子 (BCF) : 3.47~3.78
方法: 測定値

n-オクタノール／水分配係数 : log Pow: 1.998
(log 値) 備考: 生物濃縮の可能性は低い (BCF: < 100 または Log Pow: < 3)

土壌中の移動性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

環境中の分布 : Koc: 4425
備考: 土壌中移動性がわずかである (Koc: 2,000~5,000)

プロピレングリコール:

環境中の分布 : Koc: < 1
方法: 推定値
備考: ヘンリー定数が極めて低いので、自然水系や湿った土壌からの蒸発は多くないと考えられる。
土壌中移動性がきわめて大きい (Koc: 0~50)。

オゾン層への有害性

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

プロピレングリコール:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

オゾン層破壊係数 : 備考: この物質は、オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書に含まれていない。

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

他の有害影響

成分:

フェンブコナゾール (ISO):

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) ではない。
この物質は、極めて難分解性、高生体蓄積性 (vPvB) ではない。

プロピレングリコール:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質は、難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) があるとは考えられていない。この物質は、極難分解性・極生体蓄積性 (vPvB) があるとは考えられていない。

ジ-2-エチルヘキシルスルホコハク酸ナトリウム:

PBT および vPvB の評価結果 : この物質の難分解性・生体蓄積性・毒性 (PBT) は評価されていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物や容器の廃棄が製品ラベルの指示通りに行えない場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
以下の情報は購入時の状態のときのみに適用される。使用後或いは汚染された場合、特性や記載事項が適合しない可能性がある。適切な法律に則ってきちんとした廃棄物の識別と廃棄方法を定める。生じた物質の毒性や物理的性質を決定するのは廃棄物排出者の責任である。
内容物や容器を廃棄する場合は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

国連番号 (UN number)	: UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (FENBUCONAZOLE)
国連分類 (Class)	: 9
容器等級 (Packing group)	: III
ラベル (Labels)	: 9

インダー™ フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

環境有害性 : 該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name) : Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (FENBUCONAZOLE)

国連分類 (Class) : 9

容器等級 (Packing group) : III

ラベル (Labels) : Miscellaneous

梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 964

梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 964

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number) : UN 3082

国連輸送名 (Proper shipping name) : ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N. O. S. (FENBUCONAZOLE)

国連分類 (Class) : 9

容器等級 (Packing group) : III

ラベル (Labels) : 9

EmS コード (EmS Code) : F-A, S-F

海洋汚染物質 (該当・非該当) : 該当(FENBUCONAZOLE) (Marine pollutant)

備考 : Stowage category A

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考 : 国連番号 3077 及び 3082 に割り当てられた海洋汚染物質は、液体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味容量が 5L 以下、固体の場合には単一もしくは内装容器あたりの正味質量が 5kg 以下の単一もしくは組合せ容器において、IMDG コードセクション 2.10.2.7、IATA 特別規定 A197 および ADR/RID 特別規定 375 に規定されるように、非危険物として輸送することができる。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのため、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

インダー[™]フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

15. 適用法令

関連法規

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条の 2 (則 34 条の 2 別表 2)

化学名	含有量 (%)	備考
(RS) - 4 - (4 - クロロフェニル) - 2 - フェニル - 2 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - イルメチル) ブチロニトリル	>=20 - <30	2026 年 4 月 1 日以降
スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム塩	>=0.1 - <1	2026 年 4 月 1 日以降
プロピレングリコール	>=0 - <0.1	2025 年 4 月 1 日以降

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 5 7 条 (則 30 別表 2)

化学名	備考
(RS) - 4 - (4 - クロロフェニル) - 2 - フェニル - 2 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - イルメチル) ブチロニトリル	2026 年 4 月 1 日以降
プロピレングリコール	2025 年 4 月 1 日以降

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
(RS) - 4 - (4 - クロロフェニル) - 2 - フェニル - 2 - (1H - 1, 2, 4 - トリアゾール - 1 - イルメチル) ブチロニトリル	119	22

農薬取締法

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ADR - 陸路による 危険物品の国際輸送に関する協定; ASTM - 米国材料試験協会; ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと 考えられる濃度; EmS - 緊急時のスケジュール; ErCx - 任意の X%の反応

インダー[™] フロアブル

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: 2024/01/12
0.0	2025/04/18	800080004616	初回作成日: 2024/01/12

を及ぼすと考えられる成長率; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; RID - 欧州危険物国際鉄道輸送規則; SDS - 安全データシート; UN - 国連; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト ISHL - 労働安全衛生法

製品コード: GF-1288

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA